

科目名	語学演習（ドイツ語Ⅰ） Language Seminar (German I)			担当教員	田口 淳		
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120031	単位区分	履修単位
学習目標	ドイツ語の基礎会話及び基礎文法を習得し、ドイツ語の簡単な文章を読み、書き、話すことができるレベル（独検4級合格程度）にまで到達することを目標とする。また、ドイツ語を通して、異文化への理解を深めながら、多角的な視野を養うことを目指す。						
進め方	1時間1項目を原則として授業を進めていく。その際、確認問題（配布プリント）やゲーム形式のグループ学習を通して文法の定着を図っていく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. Das Alphabet, 発音, 簡単な会話 (2) 2. Lektion 1 (動詞の現在人称変化, 語順) (4) 3. Lektion 2 (冠詞と名詞) (4) 4. Lektion 3 (冠詞類, 指示代名詞) (4) [前期中間試験] (2)			・ドイツ語特有のアルファベットや発音のポイントが理解できる。 ・簡単な挨拶や会話, 自己紹介ができる。 ・基本的な動詞・名詞, 定冠詞類・不定冠詞類を用いた簡単な独文の読み・書きができる。 学習・教育目標:(D)			
	*試験返却・解説(1) 5. Lektion 4 (動詞の不規則変化, 命令形) (2) 6. Lektion 5 (人称代名詞, 前置詞) (3) 7. Lektion 6 (形容詞の格変化) (4) 8. Lektion 7 (話法の助動詞, 未来の助動詞) (4)			・命令形の作り方を理解し, 簡単な独文の読み・書きができる。 ・前置詞の格支配が理解でき, 簡単な独文の読み・書きができる。 ・形容詞の格変化の仕組みを理解して, 簡単な独文の読み・書きができる。 ・助動詞を用いた文の構造を理解して, 簡単な独文の読み・書きができる。 学習・教育目標:(D)			
	前期末試験						
	*試験返却・解説(1) 9. Lektion 8 (分離動詞, 再帰代名詞) (3) 10. Lektion 9 (動詞の3基本形, 過去形, 接続詞) (3) 11. Lektion 10 (完了形) (3) 12. Lektion 11 (関係代名詞) (4) [後期中間試験] (2)			・分離動詞を用いた文の構造が理解できる。 ・過去の表現を用いた平易な物語を和訳することができる。 ・副文を用いた文の構造を理解して, 簡単な独文の読み・書きができる。 ・現在完了の文の構造を理解して, 簡単な独文の読み・書きができる。 ・関係代名詞を用いた文の構造を理解して, 簡単な独文の読み・書きができる。 学習・教育目標:(D)			
	*試験返却・解説(1) 13. Lektion 12 (受動態, zu不定詞) (4) 14. Lektion 13 (比較の表現) (3) 15. Lektion 14 (接続法) (4) 16. 1年間のまとめ(2)			・受動文の構造を理解して, 簡単な独文の読み・書きができる。 ・zu不定詞を用いた文が作れる。 ・形容詞・副詞を用いた比較表現ができる。 ・接続法の作り方を理解し, それを用いた簡単な独文の読み・書きができる。 学習・教育目標:(D)			
	後期末試験 試験返却・解説(1)						
評価方法	授業中の発表10%, 課題の提出状況10%, 定期試験80% 学習項目ごとの全体評価への重みは, 1~4, 5~8, 9~12, 13~16を各25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	語学演習（ドイツ語Ⅰ）（3年）→ 語学特講（ドイツ語Ⅱ）（4年）						
教材	Text:「Mein Deutsch Mein Wunsch:ハンサムドイツ」高橋・城間 著 朝日出版社						
備考	担当教員への連絡先: TEL: 087-869-3842, E-mail: taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp						